

ライオンズクラブ奉仕デー 2008.10.19



ライオンズクラブ(Lions Club)とは、世界最大の社会奉仕団体「ライオンズクラブ国際協会」に所属する単位クラブ。社会奉仕活動をロータリークラブ(国際ロータリー)のように職域や個人で行うだけでなく、チームワークを発揮して行うことによって有意義な効果をあげるようにと、ロータリークラブから分裂する形で組織された団体である。なお、日本の分譲マンションの大京ライオンズマンションやプロ野球チームの埼玉西武ライオンズとは無関係である。

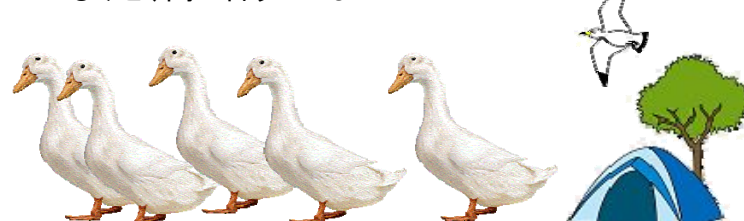
- 【組織】**全世界で44,700クラブ、会員数は約137万人。日本国内で約3,300クラブ、会員数約14万2000人。(2001年現在)
- 【特色】**奉仕終了後には参加したボランティア全員で円陣を組み、ライオンの咆哮を(「ウォー! ウォーツ!」という感じで)真似る儀式がある。中にはライオンの爪のように自分の爪を立てて、よりライオンになり切る人もいるという。これは「lion's roar」、または単に「ロア」とも言い、懇親会などでは「中締め」の代わりに行うことが多い。会員の名前を呼ぶときは名字の後にライオンをつけて呼び合う。自分を指す場合には名字の前にライオンをつけて言う(例:佐藤ライオン、鈴木ライオン、「私はライオン田中です」etc) * ボーイ隊長・Y副長・M副長も寝ている時は、ライオン状態です。
- 【会員資格】**善良な徳性の持ち主で地域社会で声望を得ている成人。クラブ員2名の推薦で諮問委員の許諾で入会。
- 【活動】**社会奉仕活動、高齢者福祉対策、精神障害者、身体障害者対策、献血・献腎・献眼・骨髄移植推進、視覚障害者・言語障害者・聴覚障害者対策、青少年・薬物乱用防止対策、環境保護対策、社会福祉対策、国際協調 YE (Youth Exchange 青少年海外派遣及び受け入れ)
- 【スローガン】**Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety (自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図る) ※ LIONSの一文字ずつを取り入れたもの。[**モットー**] We Serve (われわれは奉仕する) [**ライオンズの誓い**] 「われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する」

失礼な話し、個人的には、「商店街のお金持ちのおじちゃん集団」と思っていたが、すごい志を持った人たちだったんだ。

また、前置きが長くなってしまった。昨日の上進式も無事終了し、本日が各隊新体制での活動となる。ボーイ隊は、昨日からキャンプを行いキャンプサイトからの集合となった。今回のカメラは、カブ隊Y副長の物を使用し、撮影はボーイ隊E新副長によるものである。M副長は、インストラクターも兼務となった。



ボーイ隊は徒歩で、会場の三日月橋へ向かう。カモメ班の行進中。旗手と班長が先頭になり「ツツカター! ツツカタータ!」「おや! 一人私服の子がいるぞ! そうなんです。昨日から体験入隊中なのだ」たぶん入隊するであろう。また女子スカウトである。後ろからカブスカウトが付いて来ているが、このスカウトもボーイ隊に上進を考えている。これでやっと、男子スカウトが入隊か! 「たのむぜ!」カモメならぬガアー・ガアーとアヒルの行進。余裕こいてるけど、間に合うのかよ!





開会の挨拶。でもなぜか人の集まるところには、議員が来て長く良く喋る。



この日は、BS牛久1・2・4団とつくば2団、ガールスカウトやスポーツ少年団(剣道・柔道)が集まりました。



カブ隊は、上進4名を加えて、10名での活動となる。ビーバー隊は3名となるが、入隊待機が3名いる。



女三人寄れば、かしましい。*ボーイ隊へこの意味は、自分で調べるのじゃ！



いざ！出陣じゃ——！我々は、稲荷川の左岸を攻撃するぞ——！敵は、憎つきゴミ軍団！「みなのも、心してかかるのじゃぞ！」



桜並木から田んぼ道を通り、稲荷川へ向かえ———！プオオ——！プオオ——！（*ほら貝のつもり）



1・2、1・2

エイ！・エイ！オ———！



一反木綿も出陣だ——！

了解ですたい！



なぜ一反木綿が出てきたのかは、上進式に来たスカウトは分かっていると思うが、何のために作成したかは、「号外M副長新聞」をお楽しみに！



川沿いなので、風が結構吹いている。ゴミ袋を飛ばされるでないぞ！



空は、快晴！ゆふ将軍の影響なし。ゆふ将軍は、キャンプサイトで留守番である。でも、この写真はファッション雑誌の1カットみたいだ。



「なんだこれ——！ くっせ——！」 おい・おい！
なぜか、ベロが出ているぞな！



「M副長！ 大丈夫?!」 M副長は、スカウトステックを持っているので、岸から離れたものでも拾えるのであった。



「なんだっぺ！これ——！」 コンビニ弁当の容器である。



「なんだっぺ！これ——！」 空き缶・空きビンである。

稲荷川沿いのゴミの傾向は、ペットボトル・缶・コンビニの弁当容器・カップ麺容器などが主流。なぜか、発砲スチロールの箱も多く浮いていた。缶は一旦沈み、中にヘドロなどが入りガスが発生して浮いてくるようである。冷蔵庫か洗濯機の一部と思われるプラスチックも浮いていた。浮いている物は、回収可能であるが、テレビ・自転車などもかなりの量が沈んでいるのであろう。次回から川沿いの清掃の場合は、安全確保のためのライフジャケットと、タモ網があれば回収が安全且つ迅速に行えると思う。また、アシの中や、川岸から離れた物の回収のための、日頃の訓練を生かしたカヌー一班の出動も効果的である。



「バッテリー！」で、君は兄の方か？ 弟君の方か？



お散歩中の、ボーイ隊。



「お・おりゃー！ タイヤ取ったどー！」軽自動車のタイヤを引き上げたと思ったら、今度はトラックのタイヤが出現！！ なんてこんな物があるんだ！



今回最大の獲物(ゴミ軍団の大ボス)を引き上げて、ご満悦の自分(M副長)である。「どうやればこんな物を、引き上げれるんですか？」「根性です。でも、こんなゴミが捨てられているようでは、喜んではいられなぞ！」



作業終了。スカウトたちが、今日の活動を振り返り、これから自分たちで、やらなければならないことを考えています。取り合えずリーダー達の言うことを聞いて欲しい。



回収したゴミの一部である。4団が川から引き上げた物は、悪臭がするので別の場所に置いたそうである。

閉会式後、毎年、菓子パンとジュースでしたが、今年はライオンズクラブの奥さんたちで組織されている、ライオンズクラブの皆さんの手作りカレーです。お代わりするスカウトやリーダーも多く、大人用の辛口カレーも準備されていて大変おいしく戴きました。ごちそうさまでした。残念ながら、デジカメはバッテリー切れのため、食事風景はありません。カレーには、木のスプーンが付いていました。「う・う・うーん、エコロジー」サイトで留守番しているY副長にもカレーのお持ち帰り。PS:他人の撮影した物にコメントを入れるのは、結構、難しい。
～ これらページの文は、M副長によるものです。～

